

柏崎地区納税貯蓄組合連合会長賞

『税の大切さ』

柏崎市立北条中学校 三年 村山 慶介

税金が私たちの生活を支える基盤であるということを、改めて考えるとその大切さを感じます。少子高齢化や自然災害、経済の変動など、今、私たちはさまざまな課題に直面しています。そのような状況下で、税金の重要性や役割をしっかりと理解、把握することが大切だと思います。

まず、税金とは私たちが働いて得たお金や、物を買うときに支払うお金の一部で、国や地方自治体に納めるお金のことです。そのお金は道路や学校、病院、警察、消防など、私たちが安心して暮らすために欠かせない公共サービスを支えるために使われています。これらのサービスを個別に提供するのは現実的に難しいので、みなでお金を出し合う仕組みが必要です。また、日本では少子高齢化が進んでおり、働く人が減る一方で、年金や医療、介護にかかる費用がどんどん増えています。そのため、税金や社会保険料の負担が重くなる一方で、その重要性も高まっています。もし税金が十分に集まらなければ、病院や介護施設の運営が難しくなり、必要なサービスを提供できなくなる可能性があります。だからこそ、税金の役割はこれまで以上に大切だと言えます。また、近年では自然災害が頻発しています。地震や台風などで多くの人が被害を受け、その復旧には莫大な資金が必要です。そうした支援のためにも税金が活用されています。災害が発生したとき、迅速に支援を届けるためには、日頃からの準備や資金が欠かせません。もし税金が不足すれば、被害を受けた人々への支援が遅れるかもしれません。さらに、現代社会では技術革新が進み、インターネット、スマートフォンの普及などで便利な生活が実現しています。しかしその一方で、サイバーセキュリティや情報教育、環境問題への対応など、新たな課題も増えています。こうした分野にも税金が使われることで、より安全で快適な社会が作られていきます。税金は現代の生活を支えるだけでなく、未来の社会を築くためにも必要なものです。大切なのは、税金を払うことが「損」だと思うのではなく、税金がどのようにに使われ、どのような意味を持つかに関心を持つことだと思います。税金があるからこそ、私たちは学校に通え、病気になっても医療が受けられ、社会の安全が守られているのです。だからこそ、税金の使い道やその意義についてより理解を深め、感謝の気持ちをもつことが大切だと感じます。

私たちもいつか納税者として社会の一員になります。そのため今から税金の仕組みや役割について学び理解を深めることが、より良い社会づくりに貢献する第一歩だと思います。

最後に、税金は私たちが安心して暮らせる社会の基盤です。これからも税金の大切さを忘れずに、未来を支える一員として考え続けていきたいです。